

◎ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、正しくお使い下さい。

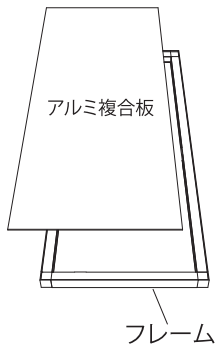
業者様へー本書はお客様へお渡し下さい。
お客様へー本書は大切に保管して下さい。

付属部品:六角ボルト(4本)・ワッシャー(大)(4ヶ)・スプリングワッシャー(中)(4ヶ)・
ビス(短)(16本)・ビス(長)(4本)・座金(小)(20ヶ)・アジャスター又はキャスター(4ヶ)
工 具:スパナ(1ヶ)

《組立の注意点》

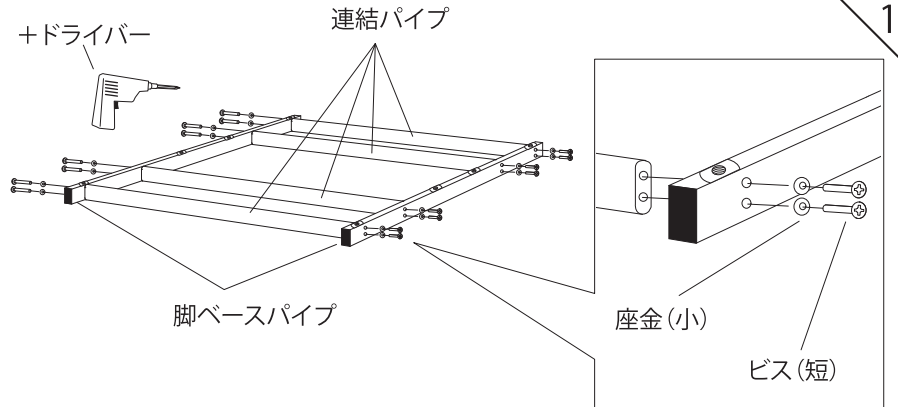
ビス(ボルト)が傾いた状態で、工具を使い無理に締め込むとネジ山を破損させる場合があります。
確実に取付するため、ビス(ボルト)を軽く手で取付したあとに工具ですっかりと締め込んで下さい。

ソフトの取り付け方法

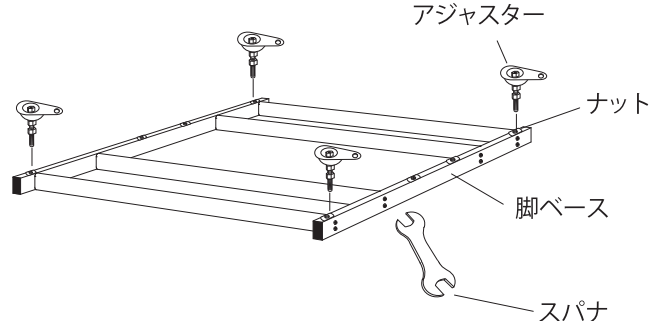
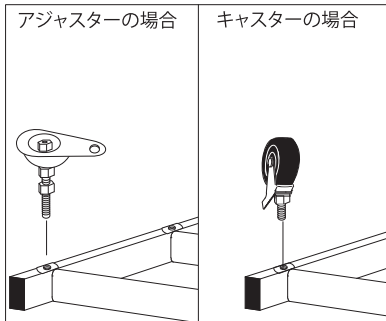


アルミ複合板を、両面テープでフレームに固定します。

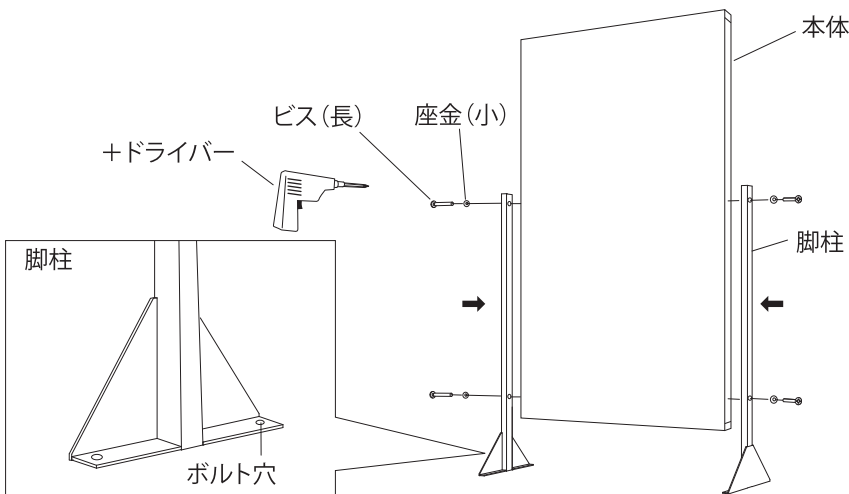
組立方法



+ドライバーを用意して下さい。
脚ベースパイプと連結パイプを、座金(小)とビス(短)で固定します。

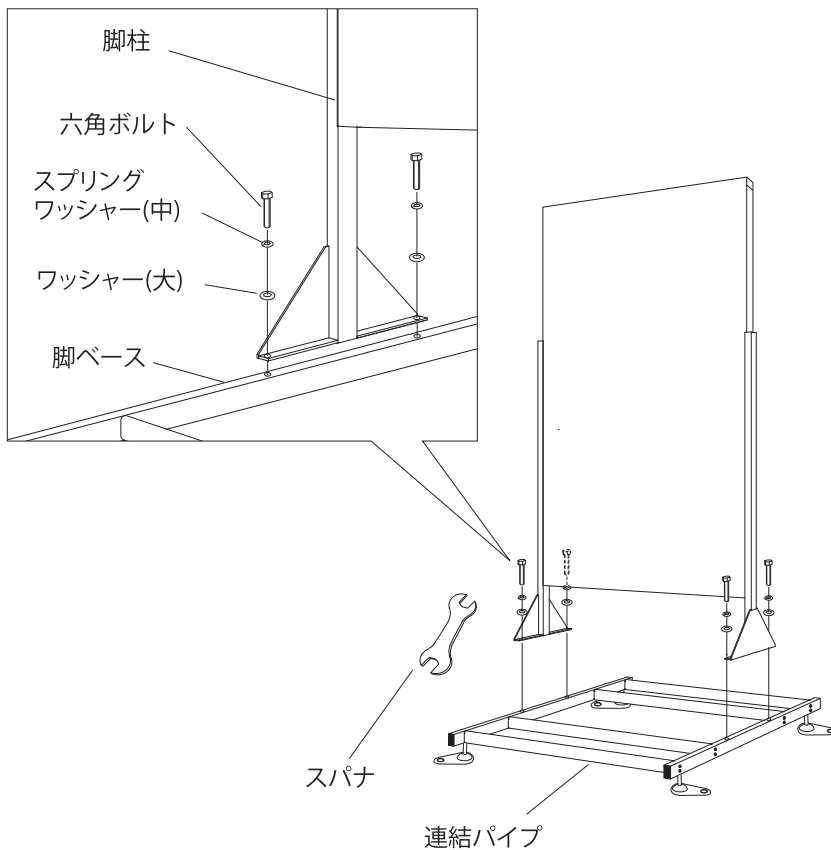


組み立てた脚ベースにアジャスター(またはキャスター)を外側のナットに付属のスパナを使って固定します。



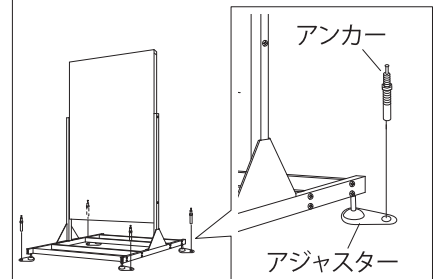
※本体と脚柱をビスで、ゆるく仮止めして、本体が垂直にたっている事を確認してから、ビスを締めこんで下さい。

脚柱の向きを確認して下さい。(ボルト穴があるほうが内側になります)
本体を脚柱にはさみ、ビス(長)と座金で固定します。



※転倒防止のため、連結パイプの上に、ウェイトを十分乗せて下さい。
 ・アンカーで固定する事もできます。
 ※キャスター使用の場合は必ずストッパーをロックして下さい。

アンカーで固定する場合



アジャスターの穴(穴径φ14)よりアンカーで固定して下さい。
 ※アンカーの固定は、必ず専門知識のあるプロの業者の方に依頼し、取り付け業者様の責任において行って下さい。

脚ベースを裏返し、(アジャスターのついている面が下面です)
 脚ベースと脚柱をワッシャー(大)、スプリングワッシャー(中)、六角ボルトで固定します。

お取り扱い上の注意

- | | |
|-----------|--|
| 組立・設置に際して | <ol style="list-style-type: none"> ご使用前に必ず本書(取り扱い説明書)をよくお読みいただき、記載された注意事項を守って、正しくお使い下さい。
 ※記載された注意事項を守らずに使用した場合の事故については、責任を負いかねます。 組立は本書に従い、安全に留意して行って下さい。
 ・ビス(ボルト)・ナット等は正しいものを使用し、確実に締め込んで下さい。ゆるんでいると本体の落下や転倒の原因となります。
 ・組立は人通りや周囲の状況を配慮し、組立作業に支障のない場所で行い、安全に十分注意して行って下さい。
 (重量物の組立は2人以上で行うことをおすすめします。) 本体及び部品の改造は行わないで下さい。
 ・強度低下、故障、事故の原因になります。また、本来の機能を損なう恐れがあります。 屋外向き仕様ですが、環境条件にご注意下さい。
 ・この商品は屋外向き仕様になっていますが、なるべく直射日光や雨風を避けて設置下さい。 設置場所にご配慮下さい。
 ・人通りや周囲の状況に配慮し、安全な場所に設置して下さい。本体に人が当たると、けがをしたり、衣服を損傷したりすることがあります。 スタンド式の商品は転倒に注意し、平らな床面に設置下さい。
 ・転倒や移動による事故防止のため、平らな床でご使用下さい。傾斜や凹凸のある場合、鉄板を敷いて平らにする等の対策を行って下さい。また床面が平らでも、キャスターがついている場合は必ずロックして下さい。 風による転倒や移動を防止下さい。
 ・重り載せる等の対策を行って下さい。
 ・強風時は風の当たらない場所に移動して下さい。
 ・キャスターがついている場合は、車輪留めを置く等の対策を行って下さい。 |
| ご使用に際して | <ol style="list-style-type: none"> 角部、フレーム切り口、部品等は鋭利ですので、取り扱いにご注意下さい。
 ・手などを傷つける恐れがあります。また、人に当たると、けがをしたり、衣服を損傷したりすることがあります。 屋外でご使用の場合、ソフトは防水タイプをご使用下さい。 周囲にものを置かないで下さい。
 ・予期せぬ事態で本体が転倒や移動することも予想されます。 設置状況を確認下さい。
 ・気象や人的要因により、設置状況が悪化した場合、本体が転倒や移動する恐れがあります。 故障、破損、部品の紛失等があった場合は、業者の方に依頼し、新しいものに交換して下さい。 |
| お手入れに際して | <ol style="list-style-type: none"> 定期的に点検して下さい。
 ・本体と裏面の金属部分(直付け用ビス等)のゆがみ、ガタつき、錆、腐食等の異常がないかを点検し、異常がある場合は交換して下さい。 定期的に清掃して下さい。
 ・本体周辺はほこりがたまりやすく、放置していると汚れますので定期的に清掃して下さい。
 ・柔らかい布を水でしめらせ、よくしぼってふいて下さい。金属磨き、サンドペーパー等は表面をいためます。
 ・殺虫剤をかけた後、シンナーやベンジン等揮発性のあるものでふいたりしないで下さい。変色、変質の原因となります。 |



角部、フレーム切り口、部品等は鋭利ですので、手などを傷つけないよう、取り扱いにご注意下さい。